

計画策定年月	令和	4年	3月	11日
計画変更年月	令和	年	月	日
	令和	年	月	日
	令和	年	月	日
	令和	年	月	日

三隅地区の夢プラン

地域協議会名称 : みすみ市民協働推進協議会

都道府県・市町村名 : 山口県 長門市

地域名 : 三隅地区

<p>地理的条件</p>	<p>長門市は山口県の最西北端に位置している。三隅地区（以下「本地区」という。）はその長門市の東端にある。 北西に仙崎湾、名勝青海島と一衣帯水、東は萩市に接し、南は桂木山系を隔てて、美祢市美東町、秋芳町に隣接。面積 67.40 k m²で、県の1.1%にあたり、人口5,077人、世帯2,397戸（令和3年3月）である。 「和名抄」に「美須美」と初めてその名が現れ、その後三隅上・三隅中・三隅下村となり、三村を併せて三隅村と改め、昭和17年町村制を施行し、平成17年大津郡、長門市が合併し新「長門市」となる。また幕末の天保の改革の中心となった「村田清風」を輩出した地区でもある。 地区の特徴として、森林が全体の約80%を占め、平野部では多くの農地が県営ほ場整備事業により整備されている。</p>
<p>自然的資源</p>	<p>長門市は北長門海岸国定公園青海島を中心とした美しい海岸線と5つの温泉郷が有名である。本地区にはその温泉郷のひとつ「湯免温泉」があり、湯免地区には温泉を活用した三隅ふれあいセンターと民間宿泊施設がある。 また、本地区は山林が全体の80%を占める中で林業が盛んであったが、近年は荒廃している。その中で、針葉樹を中心に進められてきた造林が、広葉樹を含めた複合林へと転換し、永久不伐の森として「千年の森」が整備され、自然公園整備として県事業により生活環境保全林「いこいの森三隅」が整備されている。</p>
<p>文化的資源</p>	<p>本地区には「滝坂神楽舞」、「兎渡谷神楽舞」、「腰輪踊り」、「御神幸」（放り神輿）などの伝統芸能が継承されている。「滝坂神楽舞」は文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民族文化財」として指定を受けており、「腰輪踊り」も山口県指定無形民俗文化財に指定されている。 また、明治維新の礎を築いたといわれる村田清風の旧宅「三隅山荘」と「墓所」は国史跡として指定され、村田清風やその志を継いだ周布政之助の遺品を中心に、幕末の長州藩の偉業を紹介する村田清風記念館が平成7年に建設された。そのほかの文化的資源として「シベリア・シリーズ」で有名な香月泰男画伯の功績を讃えるため「香月泰男美術館」が平成5年に建設された。</p>

第2 地域の現状

本地区は農業を中心とした第一次産業が主要産業の地域であり、三隅町時代は「一町一農場」を掲げた農政が中心となっていた。近年は集落営農による法人化により農業に関する課題に取り組んでいる。また、その他基幹産業である林業、水産業も少子高齢化の影響により、担い手不足等の課題を多々抱えているのが現状である。

本地区の地域コミュニティの主力は、31自治会である。高齢化率は40%を超え、自治会の組織運営にも多くの課題を抱えており、自治会で解決できないことは行政へ要望する流れが特徴的である。ニーズの多様化、少子高齢化等による多くの課題への対応が「協働」という概念のもと取り組まれている中、行政、住民が一体となって取り組む地域づくりが今後望まれる。

なお、本地区の自治会は「自治会長」が「行政協力員」を兼務しないということが長門市内の他地区の自治会組織と大きく異なる。近年は少子高齢化等による担い手不足から兼務する自治会もあるなか、町時代の「嘱託員」、合併後の「行政協力員」を自治会長が兼務しないという体制が今でも採られている。

また、本地区内の各種団体、機関の活動は、自らの関与が及ぶ範囲内にとどまり、団体・機関の相互の関わりが薄く、連携してまちづくりに取り組むことに発展していない状況である。

さらに、本地区には滝坂神楽舞をはじめ、多くの伝統芸能が継承されてきている。しかし、少子高齢化、若年層の都市部への流出等により活動の継承が非常に困難になってきている。

参考文献：第3次三隅町総合計画、三隅町の歴史と民族、町制50周年のあゆみ、閉町記念ふるさとみすみ

第3 地域づくりの方向性

今後、ますます加速していく少子高齢化の中で、これまで以上の課題が生じてくることが予測される。その中で、地区住民が地域課題を共通認識しなくてはならない。その課題解決のためには、これまでの各主体の地域づくりの取組を地域間連携に向けることが重要となってくる。それはこれまでのような自治会を中心とした取組の手法でなく、「協働」の理念に基づき、行政はもちろん、自治会や、各種団体・機関が連携し、地区の課題に取り組んでいくことが必要とされる。

「地域づくり人材発掘・育成の手引き」（山口県立大学附属地域共生センター発行）には、「地域づくりとは、私たちの安全で安心な生活を脅かす、地域課題を解決するための取組なのです。（中略）では、だれがこれに取り組むべきでしょうか。ここでもまた、主役は地域住民です。なぜならば、地域課題の解決によってその成果を直接、享受できるのは地域住民だからです。また、当事者である地域住民のみが、最後まで責任を持って自らの地域づくりに関わることができるからです」とあるように、当事者として持続可能な地域づくりに取り組んでいくことが必要である。

このため、平成25年の当協議会設立以来、県の専門家派遣事業を活用し、座談会や、アンケート調査、計画書策定委員会活動に取り組んできたが、詳細な住民意識調査は行われてこなかった。山口県立大学から指導・助言をいただき、平成30年度には小学生、中学生、一般を対象とした「三隅地区まちづくりアンケート」を行ったところである。このアンケート結果を基に、

- | | |
|------------|----------------------------------|
| ①防災領域 | 高い防災環境を整えた地域づくり |
| ②地域振興領域 | 豊かな生活ができる地域、そして生活の場所として選ばれる地域づくり |
| ③環境領域 | 自然環境を守り、将来へ継承する地域づくり |
| ④福祉領域 | だれもが安心して生活し続けられる地域づくり |
| ⑤観光・産業交流領域 | 観光の拠点づくりをめざす地域づくり |
| ⑥教育・文化領域 | 教育を取り巻く環境、地域文化を守り、継承できる地域づくり |
- の6つの領域で整理し、その課題解決に向けて事業計画を作り、実践していくこととした。

今後、このアンケート結果を最大限活用するとともに、各領域とも、協議会はもちろん、地区内のさまざまな行政を含む機関・団体、そして本地区の地域づくりの中心となる自治会の「協働」により持続可能な地域づくりをめざす。

第4 地域づくりの課題と目標

計画期間:令和3年度～令和12年度

【課題】

現状として、人口減少、少子高齢化、集落機能低下など多くのマイナス要因をかかえている。また、第1次産業中心の地区であるが、第1次産業従事者の減少、高齢化による課題も多い。

文化面において、本地区には香月泰男美術館、村田清風記念館といった文化施設が存在している。また、滝坂神楽舞をはじめとした伝統芸能が多く残っている地域である。このことは多くの地区住民が誇りとしている。しかしながら、伝統芸能の継承が途絶えたり、苦慮している側面もある。

この現状の中で、地域づくりの方向性で整理した6つの領域で課題を整理した。

(防災領域)

三隅川が上地区から下地区へとほとんどの自治会に関係してくるので、洪水害に関する意識は高いが防災機能の面では不安が残る。

(地域振興領域)

地域コミュニティの基盤である自治会も過去は先進地とされていた。現在は人口減少、高齢化に伴う担い手不足、活動の縮小など、集落機能の低下が課題として存在する。

また、過去、自治会を中心とした「新生運動」により公民館を中心とした人材育成の基盤があった。合併後は公民館の機能縮小及び先述した集落機能の低下などで人材育成がうまく機能していないことも課題としてある。

(環境領域)・(福祉領域)

本地区には路線バス、JR、タクシーと公共交通機関は存在している。しかし、料金負担が高いなど不便さを訴える声も多い。今後、持続可能な新しい公共交通網の整備が望まれるところでもある。

(観光・産業交流領域)

観光、産業、人口定住に関しては本地区ではこれといった取組がこれまでなかった。今後、地域活性化を考える中で、これらの取組が必要と考える。

(教育・文化領域)

教育に関しては幼(1)、保(1)、小(2)、中(1)と公立設置となっているが、少子化の影響が避けられない中での存続に課題がある。

【目標】

- ◎防 災：災害時、誰一人逃げ遅れることなく避難できるシステム作り
- ◎地 域 振 興：三隅の魅力発掘
- ◎環 境：河川・道路美化
- ◎福 祉：交通弱者、地域の見守り体制の強化
- ◎観光・産業：湯免地区「湯免ランド」計画
- ◎教育・文化：みんなが集まれる図書室づくり
- ◎総 務：三隅地区まちづくりアンケート（意識、将来動態）の実施、研修・講習会の開催、自治会別生活環境調査の実施

【期待される効果】

夢プラン作成を通して、本地区では地域課題の中で「少子高齢化」が及ぼす影響が最重要課題として認識されている。それぞれの領域での目標は「少子高齢化」が及ぼす様々な課題を解決する第一歩である。その課題解決に向け、積極的に取り組むには地域住民だけでなく行政を含めた地域の中での取組が求められることから、この夢プランの取組が今後の本地区として持続可能な地域づくりへとつながっていくことを期待している。

第5 事業計画 総括表

区分	活動事項	活動内容	現在の活動状況	実施スケジュール
			実施主体・協働主体	
防災	災害対策	○情報発信・共有・周知するためのシステム作りの研究 ・ほっちゃテレビ活用方法 ・みすみ広報で防災コーナー（仮）のシリーズ化	未実施 三隅自治会連絡協議会 みすみ市民協働推進協議会	令和4年度～
地域振興	空き家対策	○空き家の有効活用、適正な管理体制の構築への取組 ・空き家バンクへの登録推進。所有者への情報発信 ○将来、空き家となる可能性の高い世帯への支援 ・持ち家を活用した事業展開（フリーマーケットの開催） ○空き家のリノベーション（カフェ、駄菓子屋）	未実施 三隅自治会連絡協議会 みすみ市民協働推進協議会 みすみ地区社協 民生委員・NPO(福祉)	令和4年度～
	三隅の魅力発掘	○三隅のガイドブック作成 ・三隅のいいところ、見どころ紹介	未実施 みすみ市民協働推進協議会 三隅青年団	令和4年度～
	三隅地区の観光情報の充実	○香月泰男の「おもちゃ」PR ・ラッピング活用・オブジェの移転・「大きい木の猪」PR	未実施 みすみ市民協働推進協議会 香月美術館	令和4年度～
環境	環境美化（道路） （市道・県道）	○道路除草作業	実施中 みすみ市民協働推進協議会	令和3年度～
		○美化ボランティアづくりの仕組みづくり ・ボランティア募集、スタッフ体制、おもてなし	未実施 三隅自治会連絡協議会 みすみ市民協働推進協議会	令和4年度～
	車での移動・公共交通の 利便性	○交通手段の改善、小型バス巡回運行 ・デマンド交通導入後課題分析	未実施 みすみ市民協働推進協議会	令和5年度～
	放棄地対策	○放棄地を利用した景観づくり ・三隅地域環境パートナーシップ会議が行っていた景観 づくり復活	未実施 みすみ市民協働推進協議会	令和5年度～

区分	活動事項	活動内容	現在の活動状況	実施スケジュール
			実施主体・協働主体	
環境	ガーデンシティ	○三隅地区の花壇づくり ・ハウステンボス化計画（大津緑洋高校と共同開発）	未実施 みすみ市民協働推進協議会 三隅地域づくり推進協議会 ボランティア	令和3年度～
福祉	（再掲） 車での移動・公共交通の 利便性	○交通手段の改善、小型バス巡回運行 ・デマンド交通導入後課題分析	未実施 みすみ市民協働推進協議会 NPO（福祉）	令和5年度～
	地域見守体制の整備 高齢者に対する支援	○高齢者及び家族のお悩み相談が気軽にできる場所の確保 ・三隅地区社協（見守り訪問活動）と協力	実施中 三隅地区社会福祉協議会 福祉エリア支援員 みすみ市民協働推進協議会	令和3年度～
観光・産業	湯免地区 「湯免ランド」計画調 査・研究	○湯免地区の資源を活用して交流人口を増やす為の取組 研究（香月美術館・温泉・ハーブ園・ダム他） ○SNSを使って三隅を観光客にアピールする ・三隅を元気にする。観光客の増加、地区の取組により 交流人口の増加を図る	未実施 みすみ市民協働推進協議会	令和5年度～
教育・文化	みんなが集まれる図書室 づくり	○公民館図書室の利用促進活動 ○現建物（ふれあいセンター、山口福祉専門学校跡）の 活用検討 ・喫茶店・図書室・塾・寺小屋等	未実施 みすみ市民協働推進協議会 子ども会育成連絡協議会三隅 支部 青少年育成市民会議三隅支部 読み聞かせグループ 三隅公民館	令和4年度～

第6 地区の組織体制

(1) 地域協議会の概要

地域協議会の名称		代表者名	事務局所在地	
みすみ市民協働推進協議会		会長 坂本 和義	長門市三隅下518	
設立年月日	主な活動内容		主な活動地域	会員
平成25年8月20日	自治会長集会での提起内容に基づき、集落点検や地区住民への聞き取り調査、研究を実施する。また、計画の策定、実施に向けた関係機関及び事業所とも連絡整備を実施する。		長門市三隅	組織 31

(2) 地区の有形無形の資源リスト

番号	資源の名称	内 容	分類	所在地	管理方法	備考
1	香月泰男美術館	「シベリア・シリーズ」で有名な香月泰男画伯の功績を讃えるため建設。 代表作や沢山の油彩、素描、おもちゃ等アトリエの中に残る身の回りの小道具類、一切を含む膨大な遺品（446点）が美術館に収蔵、展示。	公共	三隅 中地区 (湯免)	市	
2	湯免ふれあいセンター	良質な温泉「アルカリ性単純温泉」を利用した施設で、若者を中心とした魅力ある温泉施設と、多目的に利用できるホール等の整備を行い、市民はもとより、市内外の方々、個々の健康づくりと交流活動が積極的に取り組まれている複合施設。	公共	三隅 中地区 (湯免)	市	

番号	資源の名称	内 容	分類	所在地	管理方法	備考
3	村田清風記念館	藩政改革の中心人物として手腕を揮った郷土の先賢村田清風と周布政之助の遺品を中心に、その業績と人柄を広く紹介。隣接する三隅山荘（旧宅）大歳山の墓所が国指定史跡になっている。	公共	三隅 下地区 （沢江）	文化指定財 団	
4	ふれあいパーク三隅	自然環境に恵まれた公園的景観の中に多目的グラウンドをはじめ、ジョギングコース、グラウンド・ゴルフ場、子供広場、芝生公園、野外ステージ等が整備され、憩いの場として利用できる複合施設。	公共	三隅 下地区 （豊原）	市	
5	黄幡社と滝坂神楽舞	往古、散在している6つの古社・古祠を集めて村の守護神「森の神」と呼んで崇めてきた。その後、寛永14年（1637）大己貴命と相殿6社を勧請して黄幡社とした 滝坂に3年続きの大飢饉が襲い、牛馬が病気に倒れ、惨状を呈したことから氏子中が協議し、厄払いの祈願に神楽を奉納して難を免れたと伝えられている。 （国の記録作成等の措置を講ずるべき無形の民族文化財）	伝統 芸能	三隅 上地区 （滝坂）		県指定無形 民俗文化財
6	兎渡谷神楽舞	至徳元年再建の際に、熊野権現社から勧請して権現宮とし、次いで文安元年高尾山（権現山）に遷宮した。さらに元龜3年現在地に遷し神楽を奏でていると、兎が谷を渡って高尾山へ飛んで行った。人々が靈感を覚え村の名前を「兎渡谷」と改めたという。神楽はその後、連綿として継承された。	伝統 芸能	三隅 上地区 （兎渡谷）		
7	三隅の腰輪踊り	市内には四楽が伝わり「鬮鶏」（上地区）「月の前の伶楽」（中地区）「獅子の洞入り」（豊原地区）「虎の子渡し」（下地区）と呼ぶ。踊り方にも暖急や優雅さに多少の差異があり、各々の名にふさわしい踊り方を古来から伝承している。	伝統 芸能	三隅地区		県指定無形 民俗文化財
8	竹内正兵衛旧宅跡	八谷庄左衛門の第5子として浅田に生まれる。後に竹内家の養子となったが、母、秀は村田清風の妹である。	史跡 （幕末）	三隅 下地区 （沢江）		

番号	資源の名称	内 容	分類	所在地	管理方法	備考
9	八谷塾	天明・寛政（1781～1800）の頃、浅田の長州藩大組の士、八谷六郎通良が開いたもので、通良は早くから家塾を開いて村内の子どもをこの塾に集め、資実剛健、勤儉貯蓄を旨として教育に専念した。村田清風も幼年時代に通良について学んだ。	史跡 (幕末)	三隅 下地区 (浅田)		
10	和真道と不老溪塾	和真道は浅田西福寺 15 世の住職である。 16 歳の時、豊前薬師村恒遠頼母（醒窓）（広瀬淡窓門下の秀才）の塾（蔵春園）に入り儒学を修め、19 歳の時、海防僧月性のもとで漢詩を研究する。 後に帰郷して、私塾不老溪塾を開いて郷里の子弟を教導する。	史跡 (幕末)	三隅 下地区 (浅田)		
11	周布政之助旧宅跡	周布政之助は文政 6 年（1823）萩市江向に生まれた。母、竹は村田清風本家の出で、父は生後 3 か月で亡くなる。 その後、政之助は母とともに浅田に移り住み、幼年時代を主にこの旧宅で過ごしたが、士官後も暇あるごとに帰省していた。	史跡 (幕末)	三隅 下地区 ()		
12	向山塾跡	東方の児玉小民部親臣（萩藩寄組士 2250 石）は、「今後の日本に最も要するものは人なり」として、四鏡戦争終了後、慶応 3 年（1867）萩の学者、山本清十郎を塾頭に迎えて向山塾を創設した。	史跡 (幕末)	三隅 中地区 (向山)		
13	楫取素彦の旧宅跡	楫取素彦は（小田村素彦）は藩主の信任も厚く、吉田松陰とも親交があった。	史跡 (幕末)	三隅 中地区 (二条窪)		
14	熊野神社	江戸時代に弘法堂を建てるとき、地中より金神像・銅鏡を入れた鉄鑊（鉄の大釜）狛犬 2 体が掘り出されたので、大権現社として再興した。	史跡 (市文化財)	三隅 中地区 (中村)		

番号	資源の名称	内 容	分類	所在地	管理方法	備考
15	中村権現社 宋風獅子	土中より掘り出されたという狛犬は石造で応永年間（1394～1428）中国温州の住民慶裁が、熊野権現社の神宝として献納したものと伝えられる。 鷹さ 54 センチ、雄は薬玉をもち、雌は仔獅子に鈴を玩ばせている。	史跡 (市文化財)	三隅 中地区 (中村)		有形文化財
16	金銅阿弥陀如来座像懸 仏及び鏡板 (3 体 4 枚)	熊野権現社の御神体としてまつられている。	史跡 (市文化財)	三隅 中地区 (中村)		有形文化財
17	ナギの木	熊野権現社再建の際、神木として植えられたもので、山口県下では大きいものである。	史跡 (市文化財)	三隅 中地区 (中村)		天然記念物
18	三隅八幡宮	鎌倉時代に九州の宇佐八幡宮より勧請した三隅村・通村（長門市）の総氏神である。 文化財には、大般若波羅密多經 248 卷、獅子頭があり境内南側の合社は三元社流世造で貴重な建物である。 秋の例祭には、県指定無形文化財の腰輪踊りと神楽舞が奉納される。8 月から各集落ごとに始まる田頭御神幸は全国での珍しい「放り神輿」である。	史跡 (市文化財)	三隅 中地区 (市)		
19	黄幡社	往古、散在している 6 つの古社・古祠を集めて村の守護神「森の神」と呼んで崇めてきた。	史跡 (伝統芸能)	三隅 上地区 (滝坂)		